

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

ワークショップ 18	
企画名	プライマリケア医が行う Pap スメア
日時	2016年6月11日(土) 17:00～18:30
会場	第14会場 (台東区民会館 9階 特別会議室(大))
企画責任者	伊藤雄二 (公益社団法人地域医療振興協会 総合診療産婦人科養成センター)
定員	20名
開催の目的・概要	
<b>【開催の目的】</b> 非産婦人科プライマリケア医が、Pap smear (子宮頸癌検診)を実践できるスキルを修得する	
<b>【概要】</b> Pap スメアによるスクリーニングの子宮頸癌予防効果は実証されているが、我が国での実施率はきわめて低い。諸外国では、Pap スメアは非産婦人科プライマリ・ケア医により広く行われており、プライマリケア医が Pap スメアを実践することで、地域の女性のヘルスマネジメント向上に大きく寄与することができる可能性があるだけでなく、各自のウィミンズヘルスケアをステップアップする鍵となる。 本 WS では「実践できる」に徹底してこだわった内容となる。医学的知識だけでなく、自施設での実践に必要な設備・制度に関する情報を網羅した講義を提供し、シミュレーターを利用したハンズオンを行う。さらに、希望者に対しては、SNS を利用したプリセプティングシステムへの加入、近隣産婦人科医への紹介などを行い、ワークショップ終了後の継続的实践を支援する。	